

# Produttori del Barbaresco

プロドゥットーリ・デル・バルバレスコ

高品質のワインを生み出す、世界で最も優れた協同組合の一つ

バルバレスコは、王のワイン、バローロと並ぶ「女王のワイン」として知られていますが、19世紀末までバローロ程の知名度はなく、バルバレスコで収穫されたネッピオーロからバローロのワインが作られることもよくありました。バローロとバルバレスコの違いを初めてラベルで明確に区別したのが1894年に9つのブドウ農家を結集し、バルバレスコ初の生産者組合カンティエーネ・ソシアリーを創設したドミツィオ・カヴァッツァでした。同組合は1930年に解散しましたが、1958年、小さなブドウ農家を存続させるため、教会の司祭の下で19軒の農家が結集し、プロドゥットーリ・デル・バルバレスコが誕生しました。

ワイン・アドヴォケート1990年2月号でロバート・パーカーに「世界のどの協同組合よりも高水準のワイン作りを継承している」と言われ、トップ生産者の地位を確立し、今や54の農家が加盟。畑の総面積は110haに及びます。組合の方針で各々の畑は、畑の所有者である農家が独自に管理し、伝統を守りながら上質なネッピオーロを育てています。樹齢7年以上の畑から選定した凝縮感のある濃厚なバルバレスコと、樹齢7年以下の若い畑から採れた軽快な味わいのネッピオーロ・ランゲを毎年リリースし、特に良い年にのみ、単一畑のリゼルヴァが9種類生産され、ボルドーワインのように長期熟成の効く極めて上質なワインを輩出しています。【写真:カンティエーネ・ソシアリーの創設者ドミツィオ・カヴァッツァ】



品質重視をモットーに掲げ、ブドウの品質基準を厳しく設定しているため、最良の出来のブドウのみが納入を許され、収穫したブドウは傷つかないように小さなカゴに入れて運ぶなど、その取り扱いにも厳格な指定がなされています。こういった厳しい取り決めのお陰もあり、協同組合でありながら高品質のワインを造り出すことができ、世界でも最も優れた協同組合の一つとされています。

■2014 ヴィンテージ情報■ 2014年は、ヨーロッパ全土でワイン作りには非常に困難な年でしたが、生育期の終わりに好ましい気候条件に恵まれ、ランゲ・ヒルのブドウの品質は驚くほど優れたものとなりました。特にバルバレスコ地区では、この困難な年において例外的に輝かしい成功を収めました。穏やかな冬の後、6月～7月まで気候が安定せず、冷涼な日と暖かい日が不規則に訪れ、頻繁に局地的な豪雨に見舞われました。この年の夏季剪定は、主に灰色カビ病の予防に重点が置かれ、夏が終わるまで骨の折れる畑仕事を余儀なくされました。しかし8月中旬にカラッと晴れた晴天が訪れ、ピエモンテの他の地区よりも遥かに乾燥した理想的な気候条件に恵まれました。9月は昼夜の気温差がブドウの実の熟成と複雑なアロマの生成に重要な役割を果たしました。バルバレスコのこの年の降水量は、ピエモンテの他の地域のおよそ1/3、バローロのおよそ半分に留まりました。生育期の終わりに乾燥した気候に恵まれることは、グレート・ヴィンテージに欠かせない条件でもあります。この乾燥した気候のお蔭で、プロドゥットーリ・デル・バルバレスコではネッピオーロの収穫時期を遅くすることが出来、近年のスタンダードに合わせて10月8日から収穫を開始し、日照量の多い乾燥した天候条件の下、10月22日に収穫を終えました。2014年は、2013年と良く似た特徴を持つミディアムボディでバランスが良く、豊かな色合いと豊潤なアロマ、素晴らしくミネラリーな後味が広がる熟成力の高いワインに仕上がりました。



■2015年ヴィンテージ情報■ 2015年は、温暖で乾燥した気候によりネッピオーロは健康なブドウを实らせ、稀に見る良年となりました。8月中旬には冷涼な気候となり、9月は日中温暖で夜間は冷涼な気候が訪れ、2週目に雨が降り、収穫前のブドウが十分なフェノール成分を蓄えるのに理想的な環境に恵まれました。タンニンの質が良いため、エレガントで長期熟成の効く骨格の良いワインに仕上がるといえます。収穫は理想的な気候条件のもと9月26日から10月7日まで続けました。糖度は例年並みですが、酸の量は6.5g/Lとネッピオーロにとって理想的な量を得ることが出来ました。2015年は、2011年のスタイルに似た熟れた果実味とパワフルでバランスの良いストラクチャーを備えた偉大なヴィンテージとなるでしょう。

■2016 ヴィンテージ情報■ 2016年は、生育期が非常に長引いた年で、1月から2月初旬にかけて雨の少ない暖かい日が続く、2月末から3月にかけては気温が急激に下がって雨が多くなり、土壌に十分な水分が蓄えられました。春は雨の多い気候と共に幕を開けましたが、夜間は寒冷で、病害リスクが軽減されました。6月20日ようやく例年並みの気温となり晴天が続きましたが暑すぎず、ブドウの熟成が例年よりゆっくりと進みました。9月後半は、日中は暖かく夜間は寒冷という理想的な気候条件に恵まれ、ストラクチャーとフェノール成分の発達を促進しました。収穫は、10月の第1週から美しい晴天の下に始まり、アルコール度数は2015年よりも低かったものの、非常にバランスが良く、大ぶりで恰幅の良いブーケに見事なストラクチャーを湛えた長期熟成ポテンシャルの高いワインに仕上がりました。

■2017 ヴィンテージ情報■ 2017年は、雨の少なかった暑い年として記憶されています。冬は温暖で降雪も少なかった一方、春は幾日か雨の降る日があり、3月の気温は平均を下回りました。4月21日と22日の早朝に気温が急降下し、記録的な寒さとなり一部で霜害をもたらしました。特に標高の低いバルバレスコの丘陵地ではこの被害が著しく、バルバレスコ全域で10%の収量減となりました。その一週間後には局地的な霜害がバルバレスコのアペラシオンを直撃し、コッタ、サン・クリストフォロ、クッラ、バサリンなどの畑で50～90%の収量減となりました。5月初旬にオヴェーロの畑を再び霜が襲いましたが、これによる被害は比較的軽く、10%の収量減に留まりました。その後は、非常に乾燥した雨の少ない暑い日が続きました。夏のこの乾燥した気候が、霜害や霜害でダメージを受けた葡萄の回復に一役買い、衛生状態が改善されて健康状態の良好な葡萄が実りましたが、水不足により収量が落ち、果皮の厚みが増して果粒が小さくなりました。これは、高い品質を示す良い兆候でもあります。9月1日ようやく降水量5ミリの小雨が降り、干ばつの続いた夏の気候パターンに重要な変化をもたらしました。その後は、カラッと乾燥した晴天が続きましたが、短期間の天候の崩れにより昼夜の寒暖差が著しく、バランスの良いアロマと酸を蓄えました。この年の収穫は非常に早く9月19日に開始しました。2017年は、春の霜と雹、夏の干ばつの影響により、例年平均20%の収量減となった低収量の年となりましたが、果実のクオリティは実に素晴らしく、円熟した果実味と骨格の良いタニックなストラクチャーを備えたバランスのとれたワインに仕上がりました。

■2018 ヴィンテージ情報■ 2018年は、雨の多い長い冬と共に幕を開け、極めて雨の少ない乾燥した前年の天候により減少した地下水源に豊かな水分を蓄えることが出来ました。冬の寒さは3月の始まりまで続き、近年よりも気温の低い日が目立ちました。これにより、ブドウの生育はゆっくりと進み、ネッピオーロは4月の第2週に例年よりも遅く萌芽を迎えました。4月は気温が一定せず、5月の前半は悪天候に見舞われた気温の低い日が続く、雨天が多かったため、カビや病害対策などでブドウ畑の管理には困難を強いられました。バルバレスコでは6月に暖かく乾燥した晴天に恵まれたため、開花と着果の時期は例年通りで、理想的な気候条件に恵まれ、豊作の年となることを予期させました。DOCG規定の生産量に収めるため、夏のグリーン・ハーヴェストは必須で、これにより品質の高い果実が実りました。夏は暑い日が7月から8月いっぱいまで続きましたが、7月15日にバルバレスコ地区の一部で雹が降り、特にオヴェロ、モンテステファエーノ、モンテフィコの畑が被害に見舞われました。その後は、暖かく乾燥した気候が続いたため、品質に関しては申し分ない年となりましたが、雹害の酷かった地域では、収穫量が著しく落ちました。9月も暑い日が続く、9月24日になって初めて夜間に冷え込みが見られるようになりました。昼夜の寒暖差が少なかったため、フェノール成分の成熟に時間がかかりましたが、晴天が続く、雨が降らなかったことでブドウの糖度が上がりました。プロドゥットーリ・バルバレスコでは、10月2日から収穫を開始し、収穫作業は12日間に及びました。2018年は、作り手の手腕を試されるチャレンジングなヴィンテージでしたが、ワインは非常に良質な出来映えで、複雑味に関しては2016年や2017年ほどではないものの、バランスのとれたしなやかで美味な味わいに仕上がりました。

■2019 ヴィンテージ情報■この年は、3月中旬まで雨が多く、気温が低い時期が続きましたが、ブドウの生育は例年通りに進みました。多量の雨が冬の僅かな雨量を補い、土壌に十分な水分が蓄えられました。5月中は平均的にあたたかく変わりやすい天候が続き、過去数年間と比較して2週間程、生育の遅れが確認されました。6月は気温が高く、土壌の水分量も多かったため、ブドウの生育が急速に進みました。最も暑かった6月末～7月初旬以降は、穏やかな気温と降雨が交互に続きました。7月末にこの夏2回目の熱波が到来し、時折激しい嵐に見舞われたものの、ブドウへの被害はありませんでした。その後は、断続的に雨が降り、穏やかな気候でした。9月初旬に入ると、気候に大きな変化がみられました。気温がかなり低く、雨も降りましたが、ランゲ地方の他の地域で発生した雹は降りませんでした。以降は、昼夜の寒暖差が大きくなり、気温の上昇がみられました。全体的に良好な気候条件の下、ネッピオーロの香気成分はゆっくりと適切な成熟度を迎え、10月8～18日に収穫を行いました。収穫したブドウは糖度が高く、良質なポリフェノール(特筆すべきは、アントシアニン含有量の多さ)を備えていることから、しっかりとしたストラクチャーのある、素晴らしい熟成ポテンシャルを持ったワインになることが期待されます。全体的に前年より低収量となりましたが、質の高いクラシックなスタイルのヴィンテージとなりました。

## ～Nebbiolo Langhe～ 若いうちから楽しめる鮮やかな果実味

**2018 Nebbiolo Langhe**

上代価格 ¥3,300(税抜)

**2019 Nebbiolo Langhe**

上代価格 ¥3,500(税抜)

ネッピオーロ・ランゲ

■テクニカル情報■ 産地:イタリア北部ピエモンテ州 DOC ランゲ 品種:ネッピオーロ 100% 樹齢:7年以下  
畑:南・西・東向き 土壌:カルシウムに富んだ石灰岩と粘土の混じる砂質土壌 醸造:ステンレスタンクを使用し 28℃で発酵。日に2度ルモンタージュしながら20日間果皮浸漬し、マロラクティック発酵後、オークの大樽で5ヶ月熟成。  
生産量:約14万本(約12,000ケース)



■コメント■ 熟れた赤い果実のアロマに白胡椒やアニスのスパイシーな風味が香るミディアムボディのヴィンテージで、5～8年ほどの熟成が効きます。パスタやピザ、白身や赤身の肉、スパイシーな野菜料理などと最高のマリアージュが楽しめます。

2018VT★パーカーポイント 92点:軽やかなルビー色を湛えた繊細できめ細やかなネッピオーロ・ランゲ。野生のバラや乾燥ブルーベリー、砕いた石灰岩、パウダー状のリコリスの仄かなニュアンスが少しずつ発展してゆく。テクスチャーは、非常に繊細できめ細やか。もし読者がベーシックだが圧倒的な満足感が得られるピュアなネッピオーロをお探しであれば、これ以上の代物はない。◀飲み頃:2020-2026年 | 2020/7/24 掲載▶

2018VT★ワインエンスージアスト 90点 ★ヴィノス 89点

## ～Barbaresco～ テロワールを忠実に反映したクラシックなバルバレスコ

**2016 Barbaresco**

上代価格 ¥5,200(税別)

**2017 Barbaresco**

上代価格 ¥5,500(税別)

バルバレスコ

■テクニカル情報■ 産地:イタリア北部ピエモンテ州 DOCG バルバレスコ 品種:ネッピオーロ 100% アルコール:14.5% 樹齢:7年以上  
標高:200～400M 畑の向き:南/西/東 土壌:カルシウムに富んだ石灰・粘土の混じる砂礫土壌 醸造:ステンレスタンクで果皮と共に日に2～3度ルモンタージュしながら28℃で30日間発酵。マロラクティック発酵後、大型のキャスクで24か月熟成。生産量:264,000本(22,000ケース)。



■コメント■ 鮮やかな赤い果実にスパイシーな風味、力強くタニックな後味を特徴とするフルボディで、収穫から20～25年間は熟成の効く熟成力の高い年です。生パスタや肉料理、特にラム肉や野鳥と良く合い、マイルドな味わいのチーズと抜群の相性です。

2017VT★ヴィノス 94点 2020年10月 アントニオ・ガッローニ (飲み頃:2020～2032年) 2017年のバルバレスコを飲めば、いかに魅力的なヴィンテージであるかがわかる。ブドウの生育期は暖かく乾燥した気候に恵まれ、ワイン全体を包み込む豊かさを湛えた味わいに仕上がっている。甘い香りを放つ赤系の果実、シナモン、バラの花びら、ミントのアロマを纏った圧倒的な魅力を持つ。主にポーラ、オヴェロ、モンテステファエーノ、ムンカゴタ、リオ・ソルドの区画のブドウから造られた2017年のバルバレスコは、魅惑的で表現豊かなスタイルが特徴的。ぜひ、お見逃しなく。

2017VT★ジャンシス・ロビンソン 17+点 2020年7月(飲み頃:2020～2030年)

薄いオレンジ色を帯びた中程度のルビー色。はっきりと感じられるサワーチェリーやラズベリーの香り。エレガントなラズベリーを思わせるミディアムボディの味わいが、タンニンを包み込む。余韻は長いはまだ若さが感じられ、今後の熟成が期待できる。

**2016VT★パーカーポイント 95 点 #243 2019 年 6 月 29 日 モニカ・ラーナー (飲み頃:2022~2040 年)** 2016 年のバルバレスコは、タイトに引き締まった美しいワインで、香りや味わいがほどけて柔らかな味わいとなるのに例年よりも多くの時間を必要とする。実に美しくバランスのとれたヴィンテージで、タイトに引き締まった果実味がワインの優れた長期熟成ポテンシャルをありありと物語っている。2016 年は、長期間に及ぶセラー熟成に相応しいヴィンテージである。酒齢の若い今の段階では、野生のベリーやバラの花、リコリスの香りが感じられる。

**2016VT★ワインスペクター 93 点 2019 年 12 月 15 日 (飲み頃:2022 年~2038 年)** チェリーやタール、メントールの風味が特徴的なリッチでシルキーな赤ワイン。味わいは、より伸びやかで、余韻の長い複雑な後味がどこまでも広がる。美しくバランスのとれた味わいで、心地よいミネラル香が後味に香る。

**2016VT★ヴィノス 94 点 2019 年 11 月 アントニオ・ガッローニ (飲み頃:2021~2041 年)** 2016 年のバルバレスコは、とてつもなくリッチな味わいを持つ実に見事なワインである。力強く深みのある恰幅の良い味わいで、バルバレスコならではの由緒ある品格が終始一貫して感じられる。これほどまでに重厚な果実味とオイリーなテクスチャーを持つリッチな味わいを前にしては、もはや例年のストレートなバルバレスコの味わいを思い出すことが出来ないほどである。あり余るほどの豊かなタンニンとクラシックなスタイルを持つストラクチャーが感じられる。甘美な赤いチェリー、煙草、メントール、リコリス、スモークの香りが勢いよく溢れ、力強い後味を生む。実に素晴らしいワインである。

**2016VT★ワインエッセー 95 点 2019 年 9 月 1 日 ケリン・オキープ (飲み頃:2026~2036 年)** スミレの花や森の木苺、ブドウ畑の柔らかな土の香りに、野生のミントや仄かなスペアミントのニュアンスが濃厚で香り豊かなアロマを織りなしている。ピンと張りのある若々しい味わいは、緊張感を湛えつつも、既に繊細なフィネスを湛え、野生のラズベリーやピリリと酸味の効いた赤いチェリー、白胡椒、スターアニスの香りが広がる。硬質で洗練されたタンニンが直線的で殆ど収斂性さえ感じさせるエレガンスを添える一方で、生彩で鮮やかな酸がすっきりと全体を引き締め、バランスをとっている。

**2016VT★ジャンシス・ロビンソン 17/20 点 2019 年 5 月 14 日 (飲み頃:2020~2032 年)** 外観は、中程度の濃淡を持つ若々しいルビー色。鉄やオーツ麦の香りと共に浮き立つような甘くリッチな果実のアロマが香る。口に含むと、熟れたチェリーの果実味が豊かに感じられるが、不協和音や過熟感は一切ない。甘酸っぱいチェリーの風味の下にタニックな風味が層を成して感じられる。実に豊かなポテンシャルを内に秘めた胎児のように若々しいワインである。

## ~Barbaresco Riserva~ 多様なテロワールが生み出す多彩な味わい

イタリアで最も権威あるワイン誌の一つ『ガンベロ・ロッソ』で最高評価のトレ・ビッキエーリを獲得したプロドゥットーリ・デル・バルバレスコが手掛けるバルバレスコの 9 つのリゼルヴァは、偉大な年にのみ作られ、収穫年から 5 年の歳月を経てリリースされます。各々の畑の個性を最も純粋かつ最高の形で味わえるよう、全て同じ醸造方法で仕込まれます。

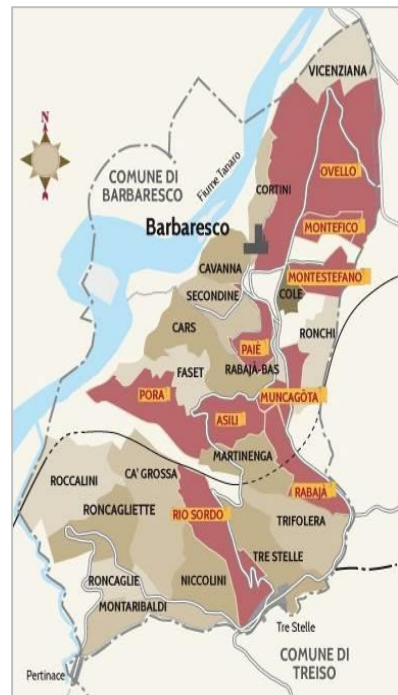
■**テクニカル情報**■ 産地:イタリア北部ピエモンテ州クーネオ県/D.O.C.G.バルバレスコ地区  
醸造:ステンレスタンクで30℃の温度に保ちながら32日間マセラシオン、完全にマロラクティック醗酵。  
大樽で36ヶ月熟成させた後、最低9ヶ月瓶内熟成。(瓶詰:2019年6月) アルコール:14.5%  
相性料理:生卵を使ったパスタ、リゾット、白身肉、赤身肉、ジビエ、鹿肉 熟成力:収穫年から20年  
2014VTの特徴:濃厚な花と果実のアロマ、バランスの良い熟れたタンニン、エレガントな後味。  
2015VTの特徴:熟れた赤果実、しっかりとしたタニックなストラクチャーを持つ豊満な味わい。

■**品種**■ バルバレスコ地区で栽培されたネッピオーロ 100%。13世紀からピエモンテで栽培されているこの品種は、奥深く魅惑的な風味を持ち、熟成に時間がかかり、畑の土質や天候から影響を受けやすいため、テロワールの個性がワインの香りや味わいに色濃く反映されます。

■**気候**■ 暑い夏と穏やかで暖かい春と秋、雪の降る寒い冬の気候が特徴的で、年間の気温は-10℃~35℃。日照時間がブドウの品質を大きく左右するため、プロドゥットーリ・デル・バルバレスコのネッピオーロは、主に南向き、南西向き、南東向きの日当たりの良い斜面に植樹されています。

■**ワイン・アドヴォケート誌#235 2018年6月30日掲載記事**■ プロドゥットーリ・デル・バルバレスコは、今まさに記録を塗り替えようとしている。協同組合から成るこの有力なワイナリーが単一畑から収穫するリゼルヴァを5年連続でリリースする可能性が極めて高い。リゼルヴァは、2013年、2014年、2015年、2016年と続けて生産され、2017年も生産される可能性が90%だと聞く。リゼルヴァが5年連続で生産されたことは、かつて一度もない。過去の記録は2007年、2008年、2009年の3年連続が最高で、その前は1999年、2000年、2001年だ。この有力な協同組合が作るリゼルヴァ・クリュ・セレクションは、1978年を初回ヴィンテージに生産を開始し、良い年には全てのリゼルヴァを生産し、そうでなければ全く作られない。それがカンティエーナの醸造哲学だ。ジェネラル・マネージャーのアルド・ヴァッカ氏曰く、組合に加盟するブドウ農家は今や54組に上り、このうち4組がここ3年間のうちに新たに加盟したメンバーだと言う。畑面積は、総じて100ヘクタール(年間生産量は、平均50万ボトル)。組合員の農家がそれぞれ所有する畑の面積は非常に小さい。ワイン作りに関しては、全てのリゼルヴァが全く同じ醸造方法で作られている。発酵は、最長5週間マセラシオンさせ、最初の2~3週間の間、頻繁にルモンタージュを繰り返す。この長期におよぶマセラシオンは、ワインが果皮から分離するまでゆっくりと時間をかけて行われる。その後、マロラクティック発酵が完了するまでステンレスタンクとコンクリートタンクで休ませる。ワインは2月の寒い気候の中で自然と安定化し(この結果、ネッピオーロは幾分色合いが薄くなる)、その後、容量25~55ヘクトリッターの大樽に移され、3年間熟成する。この間ワインは2度澱引きされ、頻繁にウィヤーージュが施される。清澄処理は一度も行わない。これらのリゼルヴァ・ワインは、通常リリース前に9ヶ月間の瓶内熟成を経るのが常だが、市場での需要を満たすため、昨今はこの期間を短くしている。今回試飲した9つの単一畑のワインで最も軽快な味わいのものから最も力強く骨格のしっかりしたものまで順に並べると以下の通り。

1 ポーラ > 2 パイエ > 3 オヴェロ > 4 リオ・ソルド > 5 アジリ > 6 ラバヤ > 7 ムンカゴタ > 8 モンテフィコ > 9 モンテステファノ  
(※2014 ヴィンテージのワイン・アドヴォケートのテイスティングも試飲を進めるに従って濃厚さを増してゆくよう、上記の順番で試飲している。尚、上記のワインの順番は、カンティエーナ側より指示された順番である。【ワイン・アドヴォケート誌#243号 2019年6月29日掲載号より】)



## 2014 Barbaresco Riserva Pora

上代価格 ¥6,900(税抜)

## 2015 Barbaresco Riserva Pora

上代価格 ¥7,500(税抜)

### バルバレスコ・リゼルヴァ・ポーラ

川の傍に位置する肥沃なポーラの畑は、リッチで恰幅の良い果実味と大地の香り、早熟なタンニンを特徴とするメディアムボディのワインを生みます。

※畑の傾斜:南・南西向き 面積:10.7ha 標高:200-280m 土壌:石灰・石灰岩・砂礫質 生産量:16,666 本

2015VT★パーカーポイント94点:この9つのリゼルヴァ・シリーズのテイastingに際して、プロドゥットーリ・デル・バルバレスコのジェネラル・マネージャーであるレナート・ヴァッカ氏の勧めに従い、2015年のバルバレスコ・リゼルヴァ・ポーラから試飲を始めることにした。このワインは、通常9つのリゼルヴァの中で最もデリケートでスレンダーであり、短命なワインであるとされている。しかし、豊潤な2015年ヴィンテージにおいては、必ずしもそうではないことがすぐに見てとれた。この年のポーラは、生育期の豊富な日照と暑さにより、より重量感のある果実味と濃厚な味わいが見事に引き出されている。香りに関してはやや大ぶりだが、味わいは、スリムで洗練されたスタイルが一貫して感じられる。例年のポーラには見られないほどの濃厚な味わいも、瓶内熟成を重ねることにより次第にこなれてくるだろう。生産量16,666ボトル。《飲み頃:2023-2045年 | 2020/7/24掲載》



2015VT他誌評価:★ワインスペクテーター94点 ★ヴィノス93点 ★ワインエンスージアスト95点 ★デキャンタ94点

2014VT★パーカーポイント94点 RobertParker.com #243 2019年6月29日(飲み頃:2021~2035年)

昨年、同じヴィンテージのワインをバレル・サンプルで試飲したが、今や純然たる完成形となった2014年のポーラは、落胆を感じる部分が露ほどもなく、スコアは前回の評価をやや上回ってさえいる。前回の試飲時よりも若干の親しみやすさを伴う黒果実の濃厚な味わいが次第に花開いてゆく。ラヴェンダーとスミレの花の可憐でフローラルなニュアンスが存在感を増している。3年間の木樽熟成と更に1年間の瓶内熟成を経て、ワインの持つタニックなストラクチャーは、ゆったりとした緩やかな口当たりを増しており、前回よりもやや開いた味わいで、より早く飲み頃を迎える印象を覚える。もしも待ちきれなければ2020年には開栓出来るが、長期熟成型であるため、より長く寝かせることが望ましい。

2014VT★ワインスペクテーター93点 WineSpectator.com 2019年Web掲載(飲み頃:2021~2038年)

丸みのあるしなやかなワインで、チェリーやベリー系果実、甘草、ユーカリ、タールの風味がゆっくりと滲み出すように広がる。しっかりとした構造を持つ調和のとれた味わいで、メントールの風味を帯びた余韻の長い後味が広がる。生産量:1,388ケース。

2014VT★ヴィノス94点 Vinous.com 2018年10月号(飲み頃:2024-2044年)

2014年のポーラは、ダークで官能的な美しさを呈している。深みのあるスパイスとバルサム香が香る素晴らしく豊潤で滑らかな味わいが魅惑的。これほどの深みと滑らかな広がり、どっしりとした濃厚さを湛えたポーラは例年に類を見ない。その真価を發揮するまでに少なくともあと数年の熟成を要するが、酒齢が若くとも尚、格別な味わいだ。この2014年が熟成を経て私の評価を上回る品質となっても驚きはしないだろう。

## 2014 Barbaresco Riserva Pajé

上代価格 ¥6,900(税抜)

## 2015 Barbaresco Riserva Pajé

上代価格 ¥7,500(税抜)

### バルバレスコ・リゼルヴァ・パイエ

9つの畑の中で最も小さいパイエは、四方を山で囲まれた半円形の盆地で、朝は冷涼で午後は暑く、酸味の強い若々しくフレッシュな果実味が特徴です。鮮やかで生き生きとした快活さを湛えつつも複雑味のある濃厚な味わいで、バランスのとれたタニックな後味が広がります。

※畑の傾斜:南西向き 面積:1.8ha 標高:220-260m 土壌:石灰・石灰岩・砂礫質 生産量:10,000本(2015VT)、6,666本(2014VT)

2015VT★パーカーポイント93点:2015年のリゼルヴァ・パイエは、ポーラよりもずしりとした重心力を感じさせるワインで、黒果実の濃厚で厚みのある味わいがミッドパレットに感じられる。ポーラとパイエの差は、大きな差ではないが、梯子を一段ステップアップしたかのように、はっきり感じ取ることが出来る。鉄分を豊富に含んだ土や鉄鉱石、豊かな黒果実のニュアンスがより顕著に感じられる。口当たりは、このヴィンテージに関して言えば、さほど複雑さがなく余韻も短めだが、しっかりと引き締まったタンニンが異彩を放っている。ポーラとパイエの二択であれば、私としては、ポーラの方に若干高めの評価を与えたい。生産量は約10,000ボトル。《飲み頃:2023-2045年 | 2020/7/24掲載》



2015VT他誌評価:★ワインスペクテーター93点 ★ヴィノス94点 ★ワインエンスージアスト97点 ★デキャンタ95点

2014VT★パーカーポイント94点 RobertParker.com #243 2019年6月29日(飲み頃:2022~2035年)

2014年のパイエは、ポーラに比べて色の彩度がほんの僅かに暗い。(試飲を進めるに従って少しずつ濃厚さを増してゆくよう、ワイナリーから指定を受けた右記の順でテイastingを行った:1)ポーラ、2)パイエ、3)オヴェロ、4)リオ・ソルド、5)アジリ、6)ラバイア、7)ムンカゴタ、8)モンテフィコ、9)モンテステファノ。)パイエはポーラよりも僅かに柔らかく、丸みがあり、より豊かな果実味が感じられる。口に含むと、余韻が長く伸びのある赤果実の味わいに厚みのある豊かなテクスチャーが感じられる。リリース直後から実に美しくストレートな味わいを湛えている。

2014VT★ワインスペクテーター95点 WineSpectator.com 2019年Web掲載(飲み頃:2021~2038年)

バラの花、苺、チェリー、白胡椒、ミネラルのアロマと風味が花開いてゆく香り豊かな赤ワイン。美しく心地よいハーモニーと表情を湛えた艶やかでエレガントな味わい。硬質で引き締まったストラクチャーがワインにくっきりとした輪郭を与え、余韻の長い後味を生む。生産量555ケース。

2014VT★ヴィノス96点 Vinous.com 2018年10月号(飲み頃:2024-2044年)

塩の香りを伴う眩いミネラル香が黒果実を思わせる重厚な果実のアロマを突き抜けてゆくように香る。2014年は深みがあり、タニックで素晴らしくクラシックなヴィンテージで、若々しい収斂性が感じられ、その真価を發揮するまでに相応の熟成期間を要する。しっかりとした構造を持つ引き締まった味わいのバルバレスコ。後味だけをとても実に胸を打つ味わい。砕いた岩石、ミネラル、セージ、ラヴェンダーの花の香りが、輪郭のはっきりとしたこの彫りの深いバルバレスコに趣のあるニュアンスを与えている。市場でこのワインを見つけることの出来た読者は、買うのを躊躇してはならない。

**2014VT★ワインエンスージアスト 94 点 Winemag.com 2019 年 6 月 1 日 (飲み頃:2021-2031 年)**

スマイルの花、野生のベリー、挽いたクロブのアロマが主体的。味わいは、ジューシーなチェリー、ラズベリー・コンポート、スターアニスの風味が広がるミディアムボディ。澁刺とした酸と洗練されたタンニンがワインの味わいにエレガントな骨格を与えている。

**2014VT★ジャンシス・ロビンソン 17.5/20 点 IancisRobinson.com 2019 年 5 月 13 日 (飲み頃:2022~2032 年)**

外観は凝縮感のあるミディアム・ルビーで、同年のアジリよりも深みのある陰影を湛えている。大地の香りを帯びたラズベリーやルバーブを思わせる果実味にミネラル香や鉄、苺ジャムの風味が香る。素晴らしく生き生きとした鮮やかな酸に、フレッシュな赤果実、コクのある豊かなタンニンが感じられる。実に見事なテクスチャーを備えた逸品。

**2014 Barbaresco Riserva Ovello 【750ml】** 上代価格 ￥6,900(税抜)

**2014 Barbaresco Riserva Ovello 【1500ml】** 上代価格 ￥14,800(税抜)

**2015 Barbaresco Riserva Ovello 【750ml】** 上代価格 ￥7,500(税抜)

**2015 Barbaresco Riserva Ovello 【1500ml】** 上代価格 ￥16,000(税抜)

**バルバレスコ・リゼルヴァ・オヴェロ**

9 つの畑の中で最も広いオヴェロの畑は粘土質が強く、逞しい力強さと重厚なボディが特徴です。高地の冷涼な気候により、果実味がより強く引き出され、若々しいアロマが感じられます。

※畑の傾斜:南・西・南東向き 面積:20.3ha 標高:250-320m 土壌:石灰と石灰岩が混じる粘土質の強い土壌  
生産量:18,741 ボトル+2,296 マグナム(2015VT)、17,240 ボトル+1,232 マグナム(2014VT)

**2015VT★パーカーポイント 96 点:**2015 年のリゼルヴァ・オヴェロは、極めて独特なキャラクターを持つワインであり、繊細だが、存在感のあるタニックなストラクチャーを持ち、果実由来の第一アロマに何処となく儚さを感じさせる。オヴェロならではのこの儚いネッピオーロのアロマは、極めて直線的な広がりを持ち、甘草やタール、青い花やキャンプファイアの燃え殻の香りが引き立つ。9 つのリゼルヴァの中でこの位置づけを考えるならば、ネッピオーロがその独特な香りの魅力と神秘性を露わにし始める魔法の入り口へと私たちを誘ってくれるワインである。このシリーズの中で私が最も好きな定番の 1 つだ。生産量 18,741 ボトル。《飲み頃:2024-2050 年 | 2020/7/24 掲載》



2015VT他誌評価:★ワインスペクテーター96点 ★ヴィノス95点 ★デキャンタ95点

**2014VT★パーカーポイント 95 点 RobertParker.com #243 2019 年 6 月 29 日 (飲み頃:2021~2045 年)**

プロドゥットーリ・デル・バルバレスコのワインの中で常に筆者が最も好むワインの 1 つであるオヴェロの 2014 年は、大ぶりで恰幅の良い柔らかな口当たりで、瓶内熟成の期間を長くとっているため、タンニンは既に洗練され、果実味にしっかりと溶け込んでいる。オヴェロの畑に特有の豊富な味わいと柔らかなテクスチャーが実に忠実に表現されていると言って間違いない。鮮やかなベリー系果実やチェリー、ブラックベリー、プラムを思わせるブーケが香る。2014 年は生育期の終わりに暖かい気候に恵まれた年の 1 つで、温暖な年に特有の円熟した果実の味わいが僅かに感じられる。

**2014VT★ワインスペクテーター93点 WineSpectator.com 2019 年 Web 掲載 (飲み頃:2022~2042 年)**

バルサム、メントール、野生のタイム、セイヨウネズのアロマが、ブラックチェリーの種の香りに彩りを添える。男性的で筋骨隆々とした赤ワインで重厚なタンニンがしっかりと骨格を添えている。今は他のリゼルヴァよりも若干の収斂性が感じられるが、全体的にバランスのとれた味わいで、熟成力も高い。生産量 1,436 ケース。

**2014VT★ヴィノス 95 点 Vinous.com 2018 年 10 月号 (飲み頃:2024-2044 年)**

2014 年のオヴェロは、例年のワインによく見られる鮮やかで鋭利な味わいで、中程度の重量感とエネルギーな酸から来るしっかりと骨格に相応する以上の豊かな果実味を備えている。松の木、ミント、砕いた岩石、甘いレッドプラムの風味が次第に恰幅の良さを増し、大ぶりでキレのある後味を生む。オヴェロは、このシリーズの中でも熟成を要するワインの 1 つだが、若いうちに飲んでも素晴らしく感動的な味わいだ。2014 年は、例年に類を見ない重厚で凝縮感のあるオヴェロ。あとほんの数年の熟成を経れば、卓越した味わいとなるに違いない。

**2014VT★ワインエンスージアスト 94 点 Winemag.com 2019 年 6 月 1 日 (飲み頃:2019-2026 年)**

芳醇なベリーやバラの花びら、香り豊かなハーブ、ペーキングスパイスの可憐なアロマが印象的な薫り高い赤ワイン。フィネスとバランスが全てとも言える軽快でエレガントなミディアムボディ。多肉多汁なレッドチェリーやジューシーなラズベリー、シナモン、微かな白胡椒の風味が感じられる。洗練されたタンニンとフレッシュな酸を湛えた美しくバランスのとれた味わい。既に飲み頃を迎えているが、もうあと数年の熟成が効く。

**2014VT★ジャンシス・ロビンソン 17.5/20 点 IancisRobinson.com 2019 年 5 月 13 日 (飲み頃:2020~2030 年)**

外観はややオレンジがかかったミディアム・ルビー。円熟した涼やかなラズベリーのアロマは、凝縮感のあるニュアンスがほんの僅かに感じられるが、今はまだすっかり閉じている。ラズベリーや苺を思わせる凝縮感のある味わいに、直線的で緻密な酸が終始一貫して感じられる。香りは、グラスの中で刻々と豊かさを増してゆく。サラサラとした豊かなタンニンが凝縮感のあるラズベリーのフレッシュな果実味に輪郭を添えている。

**2014 Barbaresco Riserva Rio Sordo** 上代価格 ￥6,900(税抜)

**2015 Barbaresco Riserva Rio Sordo** 上代価格 ￥7,500(税抜)

**バルバレスコ・リゼルヴァ・リオ・ソルド**

バルバレスコ南部に細長く伸びるリオ・ソルドは、土壌のカルシウム量が低いためタンニンが軽く、シルクのような滑らかさを湛えたエレガントなスタイルが特徴です。骨格の良い味わいですが、長く寝かせずとも親しみやすい味わいです。

※畑の傾斜:南西向き 面積:4.5ha 標高:220-240m 土壌:石灰・石灰岩・砂礫質 生産量:13,333 ボトル(2015VT)、1 万ボトル(2014VT)

**2015VT★パーカーポイント96+点:**プロドゥットーリ・デル・バルバレスコの 9 つの単一畑のリゼルヴァを柔らかくエレガントなワインから最もパワフルなものまで順に並べると、通常このワインは、その中間に位置づけられる。2015 年のリオ・ソルドも個人的に大好きなワインの 1 つである。2015 年のオヴェロ、リオ・ソルド、アジリ、ラバイアのワインは、特に奥深い味わいを呈しており、エレガンスと力強さのバランスが実に絶妙である。リオ・ソルドは、タイトに引き締まったシャープな果実味を持ち、ややピリリとしたタニックな後味が広がる。生産量 13,333 ボトル。《飲み頃:2024-2050 年 | 2020/7/24 掲載》



2015VT他誌評価:★ワインスペクテーター95点 ★ヴィノス92点 ★ワインエンスージアスト96点 ★デキャンタ94点

**2014VT★パーカーポイント 96 点 RobertParker.com #243 2019 年 6 月 29 日 (飲み頃:2022~2045 年)**

2014 年のリオ・ソルドは、直前に試飲したポーラ、パイエ、オヴェロに比べて一段と早熟なストラクチャーを呈している。ダークでしっかりとした硬質な味わいを特徴とするリオ・ソルドは、タイトに引き締まった黒果実の味わいが根幹に感じられ、セラーでの瓶内熟成を経て次第に緊張がほどけ、柔らかな味わいを増してゆく。口当たりはややシャープでよりくっきりと焦点の定まった果実味を湛え、2014 年のような冷涼な年に収穫された酒齢の若いネッピオーロに特有のややタニックでタイトさが感じられる。バルバレスコの愛好家であればこのワインの名前はまず控えておくべきである。

**2014VT★ワインスペクテーター 94 点 WineSpectator.com 2019 年 Web 掲載 (飲み頃:2022~2042 年)**

殆ど「コク」に近い豊潤で肉厚なテクスチャーとしっかりと引き締まったストラクチャーを兼ね備えた赤。チェリー、メントール、甘草、スパイス、ミネラルの風味が香る。乾いた大地を思わせる重厚で張りのあるタンニンが後味に広がる。実に見事な活力が感じられる。生産量:833 ケース。

**2014VT★ヴィノス 93 点 Vinous.com 2018 年 10 月号 (飲み頃:2022-2044 年)**

2014 年のリオ・ソルドは、これらのリゼルヴァの中で最も継ぎ目の開いた飲みやすい味わいのワインである。クリーミーで豊かな味わいのこのリオ・ソルドは、より酒齢の若いうちから楽しめるワインの 1 つで、味わいは中程度の重量感を持つ。薫り高くフローラルなアロマが、赤黒い果実のニュアンスに浮き立つような高揚感を添える。

**2014VT★ワインエンスージアスト 95 点 Winemag.com 2019 年 6 月 1 日**

新しいなめし皮、樟脳、赤いベリー、バラの花のアロマが飲み始めに香り立つ快活な赤ワイン。味わいはミディアムボディで、サワーチェリーやザクロ、白胡椒の風味と共に鮮やかな酸ときめ細やかで洗練されたタンニンが感じられ、引き締まったハリのある後味を生む。

**2014VT★ジャンシス・ロビンソン 17+/20 点 JancisRobinson.com 2019 年 5 月 13 日 (飲み頃:2020~2030)**

ポーラよりもやや深みがあり、恐らくやや若々しい。胡椒の香りと乾いた大地の質感を帯びた苺の奥深いアロマが香る。味わいもやや凝縮感があり、真っ直ぐな酸とラズベリーのピュアな果実味が感じられる。コクのあるタニックなストラクチャーを備えた涼やかでエレガントな味わい。

<b>2014 Barbaresco Riserva Rabaja</b> 【750ml】	上代価格	¥ 7,200(税抜)
<b>2014 Barbaresco Riserva Rabaja</b> 【1500ml】	上代価格	¥15,500(税抜)
<b>2015 Barbaresco Riserva Rabaja</b> 【1500ml】	上代価格	¥16,600(税抜)

**バルバレスコ・リゼルヴァ・ラバイア**

ラバイアは、バルバレスコの特徴を全て兼ね備えています。複雑味のあるエレガントな味わい、シルクのように口当たり滑らかなタンニン、濃厚な黒果実の風味が広がる後味が印象的です。

※畑の傾斜:南西向き 面積:3.7ha 標高:240-300m 土壌:石灰・粘土・砂礫 生産量:16,104 ボトル+1,948 マグナム (2015VT)、17,304 ボトル+1,348 マグナム (2014VT)

**2015VT★パーカーポイント 97 点:**2015 年のリゼルヴァ・ラバイアは、実に見事なワインである。アロマそれ自体があたかも意志を持っているかのようにグラスから立ち昇り、極めてくっきりとクリアに香り立つ。直線的な広がりを持つ真っ直ぐな果実味と余韻の長い後味を生むエレガントなタンニンを持つ実に特別なワイン。ネッピオーロというブドウ品種が生まれ持つ裸のままの美しさが何の妨げもなく昇華され、美しくクリアに引き立って感じられる。ラバイアの白い凝灰質泥灰土壌に植樹されたこのピエモンテの土着品種の全景を垣間見せてくれるワインである。生産量 16,104 ボトル。

≪飲み頃:2024-2055 年 | 2020/7/24 掲載≫

**2015VT他誌評価:★ワインスペクテーター 97 点 ★ヴィノス 93+点 ★ワインエンスージアスト 96 点 ★デキャンタ 96 点****2014VT★パーカーポイント 96 点 RobertParker.com #243 2019 年 6 月 29 日 (飲み頃:2022~2045 年)**

2014 年のラバイアは、素晴らしく滑らかなテクスチャーを湛えた豊潤なワインで黒果実のアロマに、煙草や耕した大地の香りが広がる。黒トリュフとドライフルーツの香りが凝縮したブーケがワインに更なる濃厚さを与えている。この多肉多汁でしっかりとしたストラクチャーを備えたミディアム〜フルボディのバルバレスコは、飲み手の賞賛に値する実に見事なフレッシュ感と純然たる力強さを呈している。正しく本物の値打ち品と言える。

**2014VT★ワインスペクテーター 95 点 WineSpectator.com 2019 年 Web 掲載 (飲み頃:2022~2042 年)**

贅沢で瑞々しく官能的なテクスチャーを湛え、ピュアなチェリーや黒スグリ、花や黒鉛の風味が背景に広がる。しっかりとしたコクと生き生きとした活力に満ちた味わいで、ミネラル香を帯びた余韻の長い後味が広がる。生産量:1,442 ケース。

**2014VT★ヴィノス 96 点 Vinous.com 2018 年 10 月号 (飲み頃:2024-2044 年)**

2014 年のラバイアは、力強く重厚で弾けるような味わいで、素晴らしく濃厚な果実味としっかりとした骨格を備えている。このラバイアは、他のワインと同様にダークで力強いが、タンニンと酸は相当にハリがあり、生き生きとしたエネルギーが感じられる。ラバイアは壮大なストラクチャーと濃厚さを兼ね備えた力強くパワフルなワインで、その味わいは垂直方向に隆起する広大な広がりを持つ。また他の多くのリゼルヴァに多く見られる暗く厳粛なニュアンスも感じられる。

**2014VT★ワインエンスージアスト 97 点 Winemag.com 2019 年 6 月 1 日 (飲み頃:2022-2034 年)**

林床、新しいレザー、バラ、赤いベリーのアロマが仄かな樟脳の香りと溶け合う。若いうちは収斂性があり張り詰めた厳格な味わいが熟成力を物語る。ジュシーなチェリー、クランベリー、スターアニス、輪切りオレンジの風味と、タイトに締まった高貴なタンニン、硬質な酸が対を成す。

**2014VT★ジャンシス・ロビンソン 18/20 点 JancisRobinson.com 2019 年 5 月 13 日 (飲み頃:2022~2034 年)**

ムンカゴタよりもやや深みがあり、より熟成の進んだ味わいを呈している。苺や鉄を思わせる深みのあるアロマは、凝縮感を湛えつつも涼やかでキレがあり、ラズベリーを思わせるミネラリーな果実の味わいは、直線的で真っ直ぐな酸を根幹に湛え、鼻腔に仄かに感じられた鉄のニュアンスがよりくっきりと感じとれる。しっかりと引き締まったタンニンが層を成し、直線的で香り豊かなラズベリーのエレガントで凝縮感のある果実味を包み込む。華麗で鮮やかな後味が余韻に広がる。

## 2014 Barbaresco Riserva Muncagota

上代価格 ¥6,900(税抜)

## 2015 Barbaresco Riserva Muncagota

上代価格 ¥7,500(税抜)

### バルバレスコ・リゼルヴァ・ムンカゴタ

ムンカゴタは、標高が高く南東向きのため、朝日の日照量が多く、午後は涼しくなります。ワインは、モンテフィコに似てタンニンが強く、濃厚でフルーティな果実味、フローラルなアロマが特徴です。ミネラル感が少ない分、エレガントな花のアロマがより際立ち、硬質なタンニンが後味に広がります。

※畑の傾斜:南東向き 面積:4.5ha 標高:250-300m 土壌:石灰と石灰岩が混じる砂礫 生産量:16,666 ボトル (2015VT)、13,333 ボトル (2014VT)

2015VT★パーカーポイント 95 点:2015 年のリゼルヴァ・ムンカゴタは、日照量の高い温暖な年ならではの美しさが感じられるワインで、野生の苺やプラム、黒スグリを思わせる濃厚で感動的な第一アロマを呈している。他のリゼルヴァに比べると、ムンカゴタは、よりダークでリッチな果実味を持つ。それよりも重要なのは、タンニンの役割で、しっかりと引き締まった硬質で余韻の長いタンニンがワインの脊椎のような役割を果たし、ワインの味わいに堅牢な骨格と筋骨隆々とした逞しさを与えている。削ったトリュフを散らしたエッグ・パスタや鴨肉や鳩肉などの野鳥の肉と抜群の相性を持つ。生産量:16,666 ボトル。  
《飲み頃:2024-2055 年 | 2020/7/24 掲載》

2015VT他誌評価:★ワインスペクテーター93 点 ★ヴィノス 93 点 ★デキャンタ 94 点

2014VT★パーカーポイント 94 点 RobertParker.com #243 2019 年 6 月 29 日 (飲み頃:2022~4045 年)

2014 年のムンカゴタは、美しく洗練された鮮やかなワインで、黒いベリー系果実や熟れたチェリー、砕いた石や押し花を思わせるアロマが香る。硬質で引き締まったコンパクトな味わいで、タンニンの存在感と力強さが口内に感じられる。ブーケに関しては、今はまだやや閉じ気味だが、しばらく時間を置くことで次第に花開いてゆく。

2014VT★ワインスペクテーター93 点 WineSpectator.com 2019 年 Web 掲載 (飲み頃:2023~2042 年)

すっきりと引き締まったハリのあるワインで、ミント、メントール、甘草、オレンジの外皮、微かなチェリーの風味が徐々に香り立ち、存在感のあるタンニンと生き生きとした酸が根底に感じられる。収斂性のあるスタイルで、全体の調和がとれるまでに暫く時間を要する。生産量 833 ケース。

2014VT★ヴィノス 94 点 Vinous.com 2018 年 10 月号 (飲み頃:2022 - 2039 年)

白胡椒、鮮やかなレッドチェリー、花やミントの香りが果実味の中を突き抜けてゆくように香る、美しく鮮やかで水晶のように透明感のあるバルバレスコ。2014 年は、生き生きとしたエネルギーや活力、趣のあるニュアンスが一段と感じられ、筆者の思い出す限り、過去のヴィンテージに類を見ない特徴である。2014 年は、実に秀逸なるムンカゴタである。

2014VT★ワインエンスージアスト 93 点 Winemag.com 2019 年 6 月 1 日 (飲み頃:2020-2029 年)

エレガントな骨格を持つこの生き生きとした快活なワインは、下草やバラの花びら、赤い森のベリーのアロマ、卸したてのなめし皮の灰かな香りと共に花開く。素晴らしいエネルギーに満ちた優美な味わいは、ジュシーな赤いチェリー、ザクロ、スターアニス、白胡椒の風味を湛えた繊細で美味な味わい。コクのある洗練されたタンニンがどこまでも続く余韻の長い後味を生ずる。

2014VT★ジャンシス・ロビンソン 17.5/20 点 JancisRobinson.com 2019 年 5 月 13 日 (飲み頃:2020~2030 年)

色合いはミディアム・ルビーで、2014 ヴィンテージのリゼルヴァ・クリュの中で最も若々しい外観を湛えている。涼やかなラズベリーのアロマがゆっくりと時間をかけて花開いてゆく。濃厚だが甘みのないラズベリーのフレッシュで凝縮感のある味わい。硬質で引き締まったストラクチャーが感じられる。極めて完成度の高いワインだが、もう暫くの熟成期間を要する。やや快活で瑞々しい後味が垂涎を誘う。

## 2015 Barbaresco Riserva Montefico

上代価格 ¥7,500(税抜)

### バルバレスコ・リゼルヴァ・モンテフィコ

リゼルヴァの中で最もボディが重く、石灰質の強い緻密な土壌のためタンニンが強く、しっかりとしたアロマとミネラルが豊かに感じられる後味が特徴的です。全体の印象は、ふくよかと言うよりもすっきりとした印象で余韻に広がる濃厚なミネラルと力強いタンニンは、次の一杯をすぐに飲みたくなる後を引く美味しさです。

※畑の傾斜:南向き 面積:3.9ha 標高:230-260m 土壌:石灰と石灰岩の混合 生産量:16,666 ボトル

★パーカーポイント 95 点:2015 年のリゼルヴァ・モンテフィコは、ざっしりとした重心力を持つワインで、黒果実やプラム、スパイス、石炭の燃えさしの香りを呈している。このワインを一言で表すならば、ヴェルヴェットのような滑らかな質感を持つ、豊潤でみずみずしく官能的なワイン。ワインの骨格はよりしっかりと顕著で、くっきりとした輪郭が感じられる。果実そのものの重量感(あくまでもネッピオーロというエレガントなブドウ品種の文脈上において)を持つリゼルヴァであり、優美なエレガンスと静謐なバランスを終始一貫して保っている。生産量 16,666 ボトル。《飲み頃:2024-2055 年 | 2020/7/24 掲載》

他誌評価:★ワインスペクテーター94 点 ★ヴィノス 93+点 ★ワインエンスージアスト 96 点 ★デキャンタ 95 点

## 2014 Barbaresco Riserva Montestefano 【1500ml】

上代価格 ¥14,800(税抜)

## 2015 Barbaresco Riserva Montestefano 【750ml】

上代価格 ¥7,500(税抜)

## 2015 Barbaresco Riserva Montestefano 【1500ml】

上代価格 ¥16,000(税抜)

### バルバレスコ・リゼルヴァ・モンテステファノ

「バルバレスコのバローロ」と呼ばれる、最もバローロに近い男性的な味わいのワインで、勾配の激しい斜面で水の少ない環境のため、一段とパワフルでタンニンの強いワインに仕上がります。円熟した黒果実を思わせる重厚な味わいのフルボディで、引き締まったタンニンが後味に広がります。

※畑の傾斜:南向き 面積:4.5ha 標高:230-280m 土壌:石灰・粘土・砂礫質 生産量:16,036 ボトル+1,982 マグナム (2015VT)、14,203 ボトル+1,348 マグナム (2014VT)

2015VT★パーカーポイント 94 点:9 つのリゼルヴァの中で最後にテイastingしたワイン。この 2015 年リゼルヴァ・モンテステファノを最後にもってきた理由は、通常 9 つのワインの中でこのワインが最も力強く引き締まったワインであるからだ。しかし、本腰を入れてテイastingしてみると、このヴィンテージは、よりタイトで引き締まった滑らかな輪郭を持ち、期待以上に優美な味わいに仕上がっている。最も良いものは後の楽しみにとっておくべきと言うが、実際にこのワインは、幾年もの歳月



をかけて進化を重ねることでその真価を発揮静謐なバランスを呈している。抑制の効いた内向的な香り。生産量 16,036 ボトル。長期熟成を要するリゼルヴァ。《飲み頃:2025-2055年 | 2020/7/24》

2015VT他誌評価:★ワインスペクテーター94点 ★ヴィノス94点 ★ワインエンスージアスト94点 ★デキャンタ97点

2014VT★パーカーポイント93点 RobertParker.com #243 2019年6月29日 (飲み頃:2022~2048年)

2014年のモンテステファエーノは、かの著名なプロドゥットーリ・デル・バルバレスコのワインシリーズの中で最もダークで凝縮感のある色合いを湛え、ダークチェリーやブラックベリーを思わせる丸みのあるしなやかな果実味に親しみやすいスパイスの風味が心地よく感じられる。

2014VT★ワインスペクテーター94点 WineSpectator.com 2019年Web掲載 (飲み頃:2021~2040年)

ピュアなチェリーの風味が染み渡るように充溢する豊満で肉厚な赤ワインで、鮮やかな酸ときめ細やかなタンニンが感じられる。ユーカリや大地の香り、タールのニュアンスが次第に深みを増し、余韻の長い後味がゆっくりと広がる。実に心地よく濃厚な味わい。生産量 1,183 ケース。

2014VT★ヴィノス95+点 Vinous.com 2018年10月号 (飲み頃:2022 - 2044年)

このリゼルヴァ・シリーズの目玉商品の1つであるモンテステファエーノは、実に驚異的なワインである。広大で包み込むような味わいが広がるこのモンテステファエーノは、目を見張るほどに素晴らしい深みを湛えている。今はまだ成熟前の胎児のようなワインだが、それでも尚、素晴らしい深みと奥行き、純然たる品格を感じさせる。果実味の濃厚さとストラクチャーのバランスのとり方が実に絶妙であり、それ故にこのモンテステファエーノは、このラインナップの中でも最も完成度の高いワインの1つと言える。飲み頃が来るまで焦らず寝かせておく必要のあるワインである。

2014VT★ワインエンスージアスト96点 Winemag.com 2019年6月1日 (飲み頃:2021-2034年)

林床や果皮の赤いベリー、なめし皮、煙草のアロマがバルサム臭の香りと共に溶け合う。堅牢なストラクチャーを持つ焦点の定まった味わいで、ジューシーなモレロチェリーやラズベリー・コンポート、リコリスの風味が感じられ、黒鉛の香りが後味に仄かに香る。ワインの背骨を成すきめ細やかなタンニンと鮮やかな酸が長期熟成に耐えるしっかりとしたストラクチャーを与えている。

2014VT★ジャンシス・ロビンソン18/20点 JancisRobinson.com 2019年5月13日 (飲み頃:2022~2034年)

色合いはミディアム・ルビーで、陰影はモンテフィコよりも明るく輝きを帯びている。苺やラズベリーのアロマに胡椒の香りがほんのりと微かに感じられるが、まだ開ききつてはいない。タイトに引き締まったコンパクトな味わいで、肉厚でジューシーな赤果実が生き生きと感じられ、威風堂々たる壮麗な風格を備えた大ぶりのタンニンが土台を成している。余韻が長く、緻密で力強くパワフルだが内向的で抑制の効いた味わい。